

「倭詩」に

よせて

御著「倭詩」ご惠贈ありがとうございます。
ご本はまず、豊富な写真、それも貴重なものばかり、よくもこれだけ集めたものだと感心しました。

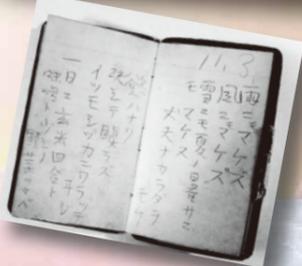
宮澤賢治の「雨ニモマケズ」をメモした手帳や肖像の写真は、賢治の資料を開くと必ず出てくるものです。それを掲載することを思いつくだけでもすごいと思います。豊饒な語彙や漢文の素養にも驚きました。いつものようにして身につけられたのでしょうか。周平君や私の世代では、もうこれだけの文を書ける人は、まず見当たりません。内容は教えられることばかりで、それが読む一つの楽しみでもありました。

「倭詩」本当にありがとうございます。益々のご活躍を念じております。

村上 利雄

6年時担任（小説家）

「森下自然医学」2012年10月号、『明朝体と宋朝体』に登場した、小・中学校担当の先生のメッセージから



いつも大変お世話になっております。

この度は、御著書「倭詩」のご出版、誠にありがとうございます。

早速読ませて頂きました。

これまでの人生の様々な出逢いの中で注がれてこられた、宮下様の深い眼差しに触れ、感銘を受けました。

今迄 まほろばさんが、様々な形で織り成してこられた、なにか惹きつけられる世界の秘密を、垣間見せて頂いたような感じが致しました。

最初は、興味深く、遠い世界を覗いているような気持ちでしたが、読み進めていくうちに、倭詩の根底に流れているものが決して遠い世界の話しなどではなく、

私たちの身近な日常の全てに息づいているのだと感じることができました。

浅知短才の身で、ぼんやりと過ごしていた日常の中に、大変多くの気付きやヒントを頂きました。

どうもありがとうございます。また繰り返し読ませて頂きます。

ご揮毫下さいましたお言葉も大変心に響き、今後の志とさせていただきたく存じます。

改めまして心よりお礼申し上げます。

「倭詩」が、少しでも多くの皆様に読まれることとなりますようお祈りいたしております。

西野 様

(まほろばのお客様)

宮下周平君へ

永い時を経て

きみに贈られた倭詩を読みながら、時の移りゆきをしみじみと感じています。私も今は、齢七十五歳を迎え、日々、記憶力の衰えを感じつつあります。そんな中、きみの美麗な文章に行き当たり、しばし過去の自分に触れる思いでした。きみとの出会いは、昭和三十八年の四月、恵庭中学校の入学式、そして、一年B組の担任として出会ったときでしたよね。あの頃の私は、教員になつて3年目、先輩の先生たちに、自分の教員としての資質は、3年間のうちに何かなさなければ、そのまま万年教員に成り下がるよ。といわれており、この一年B組は、私の決意の学年でもありました。

覚えていてくれますか。

私は、このクラスの経営に、張り切りすぎ燃えていました。私のできることを全て試みようとしていたかもしれません。

特に力を入れたのは、「班指導」でしたよね。あの頃書かれた、グループ日記は、私の手元に保存してあり、

きみの便りで思い出して、物置から引つ張り出してききました。

きみのことを思うと、君たちのグループにつけられたグループ名を思い出しています。ずいぶん前のことですが、車に乗せられて街中を走っていたとき、理髪店の看板に「プログレス」というのを見て、驚きながら、君の中学生時代の面影をおもひ浮かべていました。君はグループ名をつける時、何から探してきたか知りませんが、とても嬉しそうに、「進歩」という意味の英語だと、のべていました。

この時期の君はともつらい時期だったようですね。親御さんの病状が思わしくなく、グループ日記の中にもそのことが綴られ、グループの仲間がとも心配していたことを思い出します。

このクラスは、朝は、詩の朗読、帰りは、歌の合唱と、熱中先生でした。その頃は、そんな指導をしているクラスはなく、幼稚な学級経営のようにならなりましたが、クラスの生徒は、みんな楽しく私についてきてくれました。その年の秋、クラス対抗の合唱コンクールがあり、課題曲は、確か、五木の子守歌だったのでしょうか、日頃の歌唱指導と、名

起させられました。

現在、町内のサークル「ふるさと小学校」のなかで、一時的に国語の先生を復活しますが、王維の詩を読み、大和は国のまほろばと口ずさむと一入、郷愁を呼び覚まします。

この度、君の学年の同期会があるとの案内が来ましたが、私は、いろいろなことに関わり、特に代表になつていられるものが多く、そのために、自分の体のことが、二の次になり、やつとオフになる時期を狙って、まぶたの手術を予約したのですが、それが、十一月九日でした。いくらなんでも次の一〇日は、難しく、欠席します。

もつと前にお誘いがあれば、術日の予約は避けたのですが残念です。何はともあれ、君のお贈り頂いた本のお礼が遅くなったことをお詫びし、益々のご活躍を祈ります。

青木 靖



中学1年時担任（国語担当）

※「まほろば」の名は、中学一年生のときに、その種はまかれていました!! (宮下)